

京都府の雇用失業情勢

～有効求人倍率は1.05倍で5か月連続1倍超え～

＝平成26年8月内容＝

平成26年9月30日
京都労働局職業安定部

I 京都府の雇用失業情勢

京都府内における雇用情勢は、一部に厳しさが見られるものの、改善が進んでいると判断している。

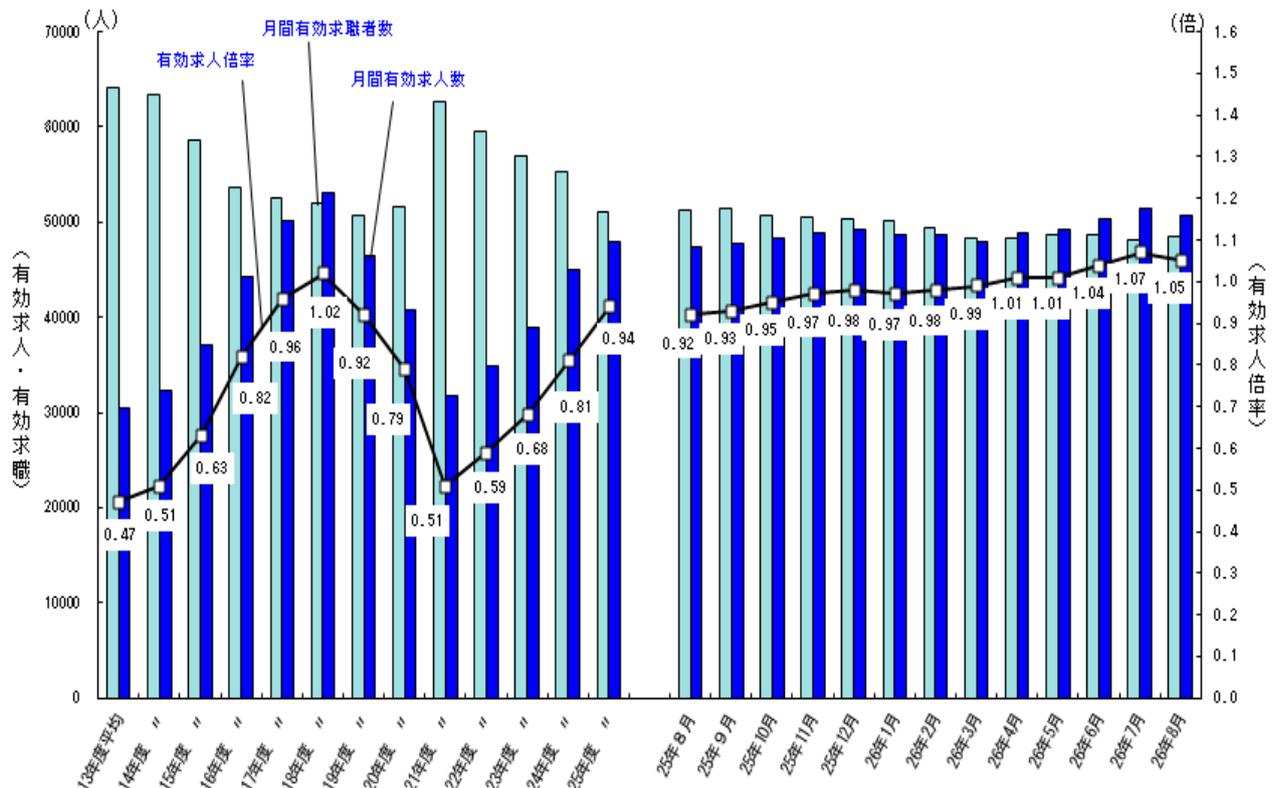
1 雇用失業情勢の総括

雇用保険被保険者数は、前年同月比+1.0%と堅調に増加しているが、一部の地域や製造業で減少が続いている。

有効求職者数、雇用保険受給者数は大幅な減少が続いている。

平成26年8月の有効求人倍率（季節調整値）は、前月より0.02ポイント低下し、1.05倍となった。

【有効求人、有効求職及び有効求人倍率の推移】



注：月別の数値は季節調整値である。なお、平成25年12月以前の数値は、平成26年1月分公表時に新季節指数により改訂されている。

2 雇用・失業等に関する動向

(1) 雇用者数に関する指標

8月末の雇用保険被保険者数は、710,186人で前年同期比1.0%増と53か月連続で増加している。

産業別にみると建設業、学術研究、専門・技術サービス業、宿泊業、飲食サービス業、教育、学習支援業、医療・福祉、サービス業などで増加が続いている。また、製造業は5月に増加に転じたものの、その後2か月連続で減少したが、8月は前年同期比で同水準となった。これは、電気機械器具製造業において減少が続いているものの、8月は2.4%減と減少幅が小さくなったことが主な原因と思われる。

製造業のうち、化学工業と業務用機械器具製造業で増加が続いている。一方、繊維工業で減少が続いており、印刷・関連業は3か月連続で、食料品製造業は4か月連続で減少した。

就職件数は、紹介件数の減少（前年同月比15.6%減）に伴い、2,866件と前年同月比9.5%減少した。

(2) 失業に関する指標

8月の受給資格決定件数は2,596人で前年同月比4.8%減となり、受給者実人員は11,274人で前年同月比11.9%減と大幅な減少が続いている。

新規求職申込み時の状況を態様別にみると、在職者は、前月に前年同月比0.9%減となったが、再び3.6%増加した。また、離職者のうち、事業主都合離職者及び自己都合離職者は、いずれも平成24年11月から22か月連続して減少が続いている。

(3) 有効求人倍率等の動向

8月の有効求人倍率（季節調整値）は、有効求人数が前月比1.2%減となった一方、有効求職者数は0.6%増となったことから、前月差で0.02ポイント低下し1.05倍となった。平成26年4月以来、5か月連続で1倍を超えている。新規求人倍率（季節調整値）は、新規求人数が前月比9.7%減となった一方、新規求職者数は1.6%増となったことから、前月差で0.19ポイント低下し1.51倍となった。

新規求人数は、全産業では前年同月比で2.6%減少した。これは3か月ぶりの減少である。要因としては学術研究、専門・技術サービスや宿泊業、飲食サービス業で更新求人や新規求人が減少したことによる影響が大きい。製造業では、前年同月比3.4%増と14か月連続で増加している。なお、前年同月比が増加に転じた産業は、医療、福祉で、減少に転じた産業は、運輸業、郵便業となっており、建設業、情報通信業、生活関連サービス、娯楽業は2か月連続で減少している。

【京都労働局 平成26年9月30日公表資料参照のこと】

3 その他の主な指標

京都府内の平成26年4月～6月期の完全失業率、完全失業者数、就業者数は、次のとおりである。

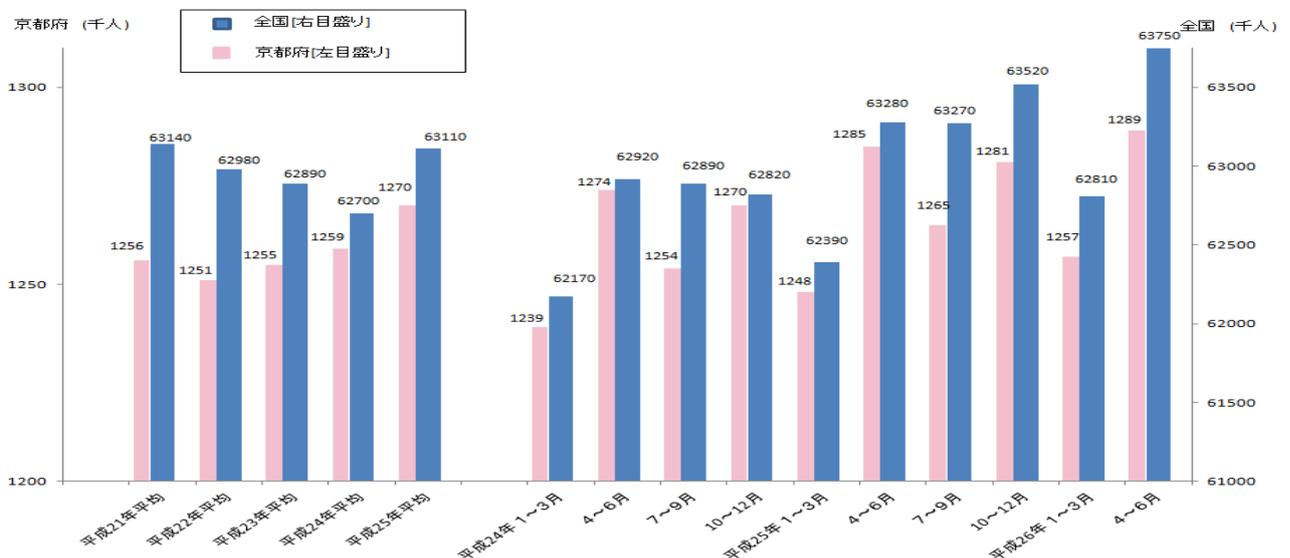
(1) 京都の完全失業率 3.4%と前年同期差0.1ポイント改善した。

(2) 完全失業者数 4.5万人と前年同期比4.3%減少した。

(3) 就業者数 128.9万人と前年同期と比べ0.3%増加した。

【総務省「労働力調査」、四半期平均（モデル推計値）より】

【全国及び京都府の就業者の推移】



※資料出所：総務省総務省統計局「労働力調査」、四半期平均（モデル推計値）より。

II 全国の雇用失業情勢

現在の雇用情勢は、一部に厳しさがみられるものの、着実に改善が進んでいる。

1 完全失業率等の動向

平成26年8月の完全失業率(季節調整値)は3.5%と前月より0.3ポイント改善した(男性は3.8%、女性は3.2%)。

※過去最高は、平成14年6月、8月、15年4月、21年7月の5.5%。

【その他の主な指標】

- (1) 完全失業者数(原数値)は、231万人と前年同月差40万人減少した。なお、季節調整値は230万人と前月差18万人減少した。
- (2) 前月と比べ就業者は9万人増加した。雇用者は7万人減少し、非労働力人口は13万人増加(いずれも季節調整値)した。

2 有効求人倍率等の動向

平成26年8月の有効求人倍率(季節調整値)は1.10倍であり、前月と同水準となった。

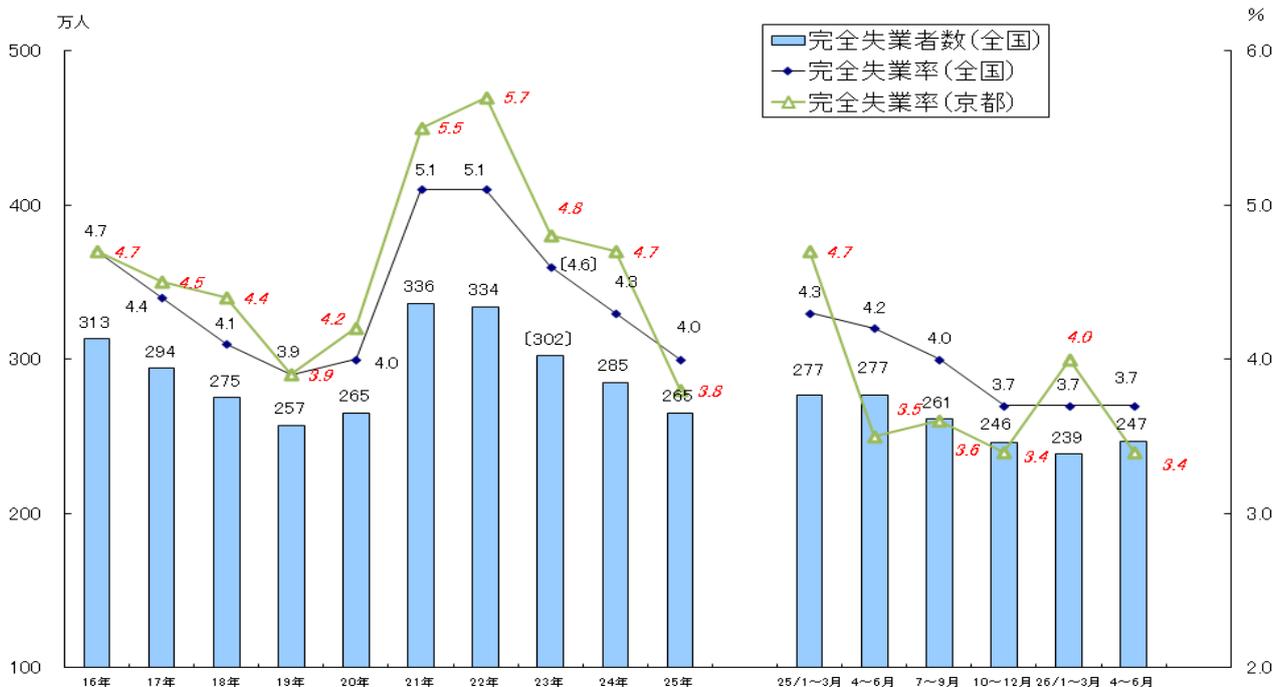
※過去最低は、平成21年8月の0.42倍。

【その他の主な指標】

- (1) 新規求人倍率(季節調整値)は1.62倍と前月より0.04ポイント悪化した。
※過去最低は、平成21年5月の0.76倍。
- (2) 新規求人数(季節調整値)は、82万人と前月比0.7%減少した。

【厚生労働省職業安定局 平成26年9月30日 公表資料から】

【完全失業率の推移】



※ 資料出所：総務省統計局「労働力調査」(〔 〕内の数値は補完的に推計した値。)

全国の四半期ごとの完全失業率(原数値)及び完全失業者数は、労働力調査(基本集計)四半期平均(速報)結果。
京都府の完全失業率は、四半期平均及び年平均(モデル推計値)。

Ⅲ 最近の労働市場動向

平成26年8月内容 ①

京都労働局職業安定部

項目	数 値	年/月	コ メ ン ト
G D P (前期比)	%	26年	年率換算7.1%減、2四半期ぶりの減少
実質国内総生産成長率	△ 1.8	4~6月	(2次速報)
(季節調整値) 就業者数	万人	26/8	前月は6,353万人 前月差9万人の増加
(季節調整値) 雇用者数	万人	26/8	前月は5,613万人 前月差7万人の減少
(原数値) 完全失業者数	万人	26/8	男性141万人・女性91万人(季節調整値は230万人) 前年同月差40万人の減少。
(季節調整値) 完全失業率	%	26/8	前月差0.3ポイント低下 前月は3.8%
(季節調整値) 新規求人倍率	倍	26/8	前月差0.04ポイント低下 前月は1.66倍
(季節調整値) 有効求人倍率	倍	26/8	前月と同水準 前月は1.10倍
月末被保険者数	人	26/8	前年同月39,548,516人、前年同月比1.6%増加 前月は40,198,782人
受給資格決定件数	件	26/8	前年同月123,893件、前年同月比9.0%減少 前月は131,069件
受給者実人員	人	26/8	前年同月584,760人、前年同月比12.9%減少 前月は520,455人
受給率	%	26/8	前年同月1.5%、前年同月差0.2ポイント低下 前月は1.3%
(四半期平均[モデル推計値]) 就業者数	万人	26年 4~6月	前年同期128.5万人 前年同期比0.3%増加 前期は125.7万人
(四半期平均[モデル推計値]) 京都の完全失業者数	万人	26年 4~6月	前年同期4.7万人 前年同期比4.3%減少 前期は5.2万人
(四半期平均[モデル推計値]) 京都の完全失業率	%	26年 4~6月	前年同期3.5% 前年同期差0.1ポイント低下 前期は4.0%
(季節調整値) 新規求人倍率	倍	26/8	前月差0.19ポイント低下 前月は1.70倍
(季節調整値) 有効求人倍率	倍	26/8	前月差0.02ポイント低下 前月は1.07倍
(原数値) うち中高年齢者	倍	26/8	前年同月0.67倍 前年同月差0.06ポイント上昇 前月は0.74倍
(原数値) うち55歳以上	倍	26/8	前年同月0.74倍 前年同月差0.06ポイント上昇 前月は0.80倍
月末被保険者数	人	26/8	前年同月703,456人、1.0%増加 前月は709,339人
受給資格決定件数	件	26/8	前年同月2,728件、4.8%減少 前月は2,654件
受給者実人員	人	26/8	前年同月12,802人、11.9%減少 前月は11,564人
受給率	%	26/8	前年同月1.8%、前年同月差0.2ポイント低下 前月は1.6%

- (注) 1 新規求人倍率、有効求人倍率はパートタイムを含む季節調整値。
 2 完全失業率、新規求人倍率、有効求人倍率の季節調整値は平成25年12月以前の値が再調整済み。
 京都の就業者数、完全失業者数、完全失業率は、総務省「労働力調査」四半期平均(モデル推計値)。
 3 「うち中高年(45歳以上)」、「55歳以上」の数値(求人倍率、就職率、新規求職申込件数、
 月間有効求職者数)はパートタイムを除く常用の数値。
 4 受給資格決定件数、受給者実人員は高年齢継続被保険者及び特例被保険者を除く数値。
 5 雇用保険関係の数値は、平成22年4月1日から雇用保険法改正により、全て一般被保険者。
 6 受給率=受給者実人員/(受給者実人員+月末被保険者数)

平成26年8月内容 ②
京都労働局職業安定部

項目		数 値	年/月	コ メ ン ト	
京 都 府	新規求人数	人 16,854	26/8	前年同月17,301人 前年同月比2.6%減少 前月は19,492人	
	月間有効求人数	人 48,286	26/8	前年同月45,170人 前年同月比6.9%増加 前月は49,695人	
	新規求職申込件数	件 10,201	26/8	前年同月10,840件 前年同月比5.9%減少 前月は10,809件	
	うち中高年(一般)	件 2,092	26/8	前年同月2,151件 前年同月比2.7%減少 前月は2,260件	
	月間有効求職者数	人 47,904	26/8	前年同月51,194人 前年同月比6.4%減少 前月は49,472人	
	うち中高年(一般)	人 11,079	26/8	前年同月11,852人 前年同月比6.5%減少 前月は11,403人	
	月末適用事業所数	事業所 42,438	26/8	前年同月42,318事業所、0.3%増加 前月は42,424事業所	
	離職票交付枚数	件 5,812	26/8	前年同月6,131件、5.2%減少 前月は6,492件	
	就職件数	件 2,866	26/8	前年同月3,167件 前年同月比9.5%低下 前月は3,654件	
	就職率 (対新規求職者)	% 28.1	26/8	前年同月29.2% 前年同月差1.1ポイント低下 前月は33.8%	
	うち中高年齢者 (対新規求職者)	% 20.5	26/8	前年同月21.8% 前年同月差1.3ポイント低下 前月は25.2%	
	充足率 (対新規求人)	% 17.0	26/8	前年同月18.5% 前年同月差1.5ポイント低下 前月は18.7%	
	26年3月 新規高卒	求人倍率	倍 2.12	26/6	前年同月1.78倍 前年同月差0.34ポイント上昇
		就職内定率	% 99.4	26/6	前年同月99.1% 前年同月差0.3ポイント上昇
障害者実雇用率	% 1.93	25/6	全国1.76% 24年6月は1.80% (全国は1.69%)		
京都府推計人口	人 2,614,981	26/8	平成26年8月1日現在		
百貨店売上高	(速報) 百万円 17,909	26/8	5か月連続の減少 前年同月比7.5%減少		
倒産件数 (東京商工リサーチ)	件 18	26/8	前年同月31件、前年同月比42.0%減少 前月は28件		
(京都市) 消費者物価指数	(速報) 総合指数 104.7	26/8	前年同月比3.3%の上昇 前月比0.5%の上昇		

- (注) 7 実質国内総生産は平成12年7～9月期以降、国民総生産から国内総支出に形式変更。
8 百貨店売上高とその前年同月比は京都市内の主要百貨店ベース。
9 消費者物価の指数は平成22年を100とした値。
11 離職票交付枚数は高年齢継続被保険者及び特例被保険者を除く数値。
12 障害者実雇用率は雇用率制度の適用となる企業規模50人以上の民間企業の集計結果。
(平成25年4月1日から 法定雇用率は、1.8%から2.0%に引き上げ。)